

アイデアをカタチに

あなたのビジネスプランを聞かせてください。

MATSUE OPEN SOURCE BUSINESS PLAN CONTESTS 2023

募集期間

2023.

1.10 TUE 12:00 まで

最終審査会

2023.

2.18 SAT 13:45 ~

場所: 松江テルサ4F 大会議室

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、
オンライン開催になる場合もあります。



BUSINESS PLAN

お問合せ

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局

Tel: 0852-60-7101

Fax: 090-0816 松江市北陵町1番地 (松江市産業経済部まっえ産業支援センター内)
E-mail: oss-contest@city.matsue.lg.jp

担当

榎原 / 曾田

【主催】 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会 (しまねOSS協議会+松江市)

【後援】 島根県、公益社団法人しまね産業振興財団、国立大学法人島根大学、独立行政法人国立
高等専門学校機構 松江工業高等専門学校、山陰合同銀行、日本政策金融公庫松江支店

応募について詳しくは裏面をご覧ください。

松江オープンソースを活用した ビジネスプランコンテストとは？

松江市では、オープンソースのプログラミング言語「Ruby」を松江市の重要な資源と位置づけ、産学官による産業振興施策「Ruby City MATSUE プロジェクト」を推進しています。同プロジェクトの一環として、オープンソースによる地域振興の中心を担う「しまね OSS 協議会」と松江市は、今年度第15 回目となる「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト」を開催します。本コンテストは、IT 業界にとどまらず幅広い分野の人達にオープンソースの情報を広く提供し、オープンソースを活用するプランをアイデアから形にすることで、オープンソースを活用した新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的とします。本コンテストを通じ、松江市が「Ruby と OSS のまち」としての存在感が高まり、応募プラン・受賞プランが企業等とのマッチングの機会となることで、具体的なビジネス化へ向けた動きとなることに期待します。

ビジネス活用部門

最優秀賞 賞金 **20万円**
(1名・団体)

優秀賞 賞金 **5万円**
(1名・団体)

※原則として、個人（一般）での応募とし、3人までのチームの応募も可能です。

学生部門

最優秀賞 賞金 **5万円**
(1名・団体)

優秀賞 賞金 **3万円**
(1名・団体)

※学生（中学生以上）が対象。個人もしくはグループ・団体での応募とし、グループ・団体の人数は問いません。

応募方法

ホームページより所定のプラン用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、「しまね電子申請サービス（松江市）」よりご応募ください。（左記、電子申請サービス（松江市）からもプラン用紙をダウンロード可能です）

しまね電子
申請サービス



HP

QR

コンテストの流れ

一次審査：2023年1月10日の募集締切後に、応募書類をもとに審査。

最終審査：一次審査通過者は最終審査会（2023年 2月18日）に進みます。ビジネスプランを発表いただき、審査します。

審査員

審査委員長	井上 浩	しまねOSS協議会 会長
審査委員	上 定 昭 仁	松江市長
	大 場 寧 子	株式会社万葉 会長
	北 村 功	島根県情報産業協会 副会長
	中 村 建 助	日経BP社 技術メディアユニット 編集委員
	野 津 和 也	株式会社スマートスタイル 代表取締役
	まつもと ゆきひろ	一般財団法人 Ruby アソシエーション 理事長
	森 正 弥	デロイトトーマツコンサルティング 執行役員
	土 岐 田 尚 也	株式会社インターネットイニシアティブ
	森 保 志	山陰合同銀行

昨年の受賞者からの メッセージ

2022年 ビジネス活用部門



最優秀賞受賞

森脇 剛

（松江モノづくり愛好会）

大きな工場棟が並ぶ企業各社では「あそこどうなっ
てたっけな、と現場を見るために往復するムダ時
間」の総量が、塵も積もって莫大だぞと感じ、DX
化・見える化・リモート化など時代の要請に応える
型での変革が、OSS を用いてできるはずだと考え
た応募案で受賞しました。普段は「何週間か準備
をして緊張しつつ「本番の日」を迎える事物」など無
い暮らしをしているので、2次のプレゼン審査での
経験は、得るモノが大きい貴重なものでした。受賞
後は、審査委員さま方の助言を念頭に、まず知財
を取得してから企業各社に相談する、という構想で、
ゆっくりとプロジェクトを進めています。（松江モノづ
くり愛好会取組事例：「松江 取手飾りプロジェク
ト」「米子城再現CG」「石見銀山坑道CG」「48m
出雲大社CG」）

2022年 学生部門



最優秀賞受賞

鄭 煥紀

（駒澤大学）

知り合いが喉頭癌を患い将来的に声を失う可能
性があると聞き、後天性の発声障害をなんとかで
きないかと考えました。調べていくうちに、ストレスによ
る失語症も存在することを知り、重症度に関係なく
全ての人に使ってもらえるように、スマホのカメラに
口の動きを映すことで、読唇して読み取った言葉を
音声に自動変換するというアイデアが浮かびまし
た。このコンテストに応募したことで自分のアイデ
アを多くの人に知ってもらい、現状の課題解決や、
障がいを持った方達向けのソリューションが今後さ
らに増えていったら嬉しいです。

過去の受賞事例は
こちらからご確認
ください。

